

# 滝上町

たきのうえちょう

面積：766.89km<sup>2</sup>  
 人口：3,376人（平成18年11月現在）  
 世帯数：1,654世帯（平成18年11月現在）  
 町の木：桜  
 町の花：芝ざくら  
 町名の由：渚滑川の滝の上流に市街地があることから。  
 H P：http://town.takinoue.hokkaido.jp  
 Mail：kankou@town.takinoue.hokkaido.jp



滝上町商工観光課商工観光係

主事 清原 尚弘

## 道の駅「香りの里たきのうえ」

### ハッカ日本一の 特産品が並ぶ

夢あふれる「童話村」をコンセプトに、町づくりが行われている滝上町。町内にはメルヘンの世界へ誘うような建物が数多く見られ、国道273号沿いの道の駅「香りの里たきのうえ」もまた、おとぎ話を連想させるヨーロッパ調の外観が特徴的です。

町内の観光やイベントの情報が気軽に得られる道の駅「香りの里たきのうえ」は、1997年（平成9年）4月に、道内で45番目の道の駅として誕生しました。「香りの里」とうたっているのは、町でハーブに力を入れていることに由来します。町内にある4万平方メートルにも及ぶ「香りの里ハーブガーデン」には、毎年たくさんの観光客が訪れ、ハーブの広がる風景やハーブを使った飲食物、またハーブグッズ作

りの体験などを楽しんでいます。

また昔からハッカの生産も盛んで、現在作付け面積は日本一を誇ります。品種は和種が中心で、体に優しい天然素材ということで注目が集まっているようです。こうしたハーブやハッカの商品は同駅でも人気が高く、アロマ効果が期待できるオイルは売れ筋の上位といます。ほかにもハーブティーや日本茶にハッカを加えすっきりとした飲み口の「ハッカ茶」。ハッカを使ったクッキーや甘納豆、飴などのお菓子類。ポプリやかわいい手作りの人形に香りづけをしたものなど、香りにこだわったバラエティ豊かな商品が並んでいます。

もちろん滝上町といえば芝ざくらが有名で、5月から6月にかけて「滝上公園」は美しいピンク色のじゅうたんを敷き詰めたようになります。同駅では年間を通じて絵葉書など芝ざくらに関連する商品を扱っており、春には芝ざくらの苗も販売します。

ほかにも木工品、ハーブで染めた衣類、山菜を使ったピン詰め、チーズ、牛肉加工品、地場の野菜を原料にしたジュース、季節の農産品などがあります。

### 20年以上前から 七面鳥生産に着手

特産品の中には日本でも生産地が限られている七面鳥があり、滝上町では20年以上も前から取り組んでいます。七面鳥は高たんぱく、低カロリーのヘルシーな食肉で、クリスマスなどの華やかな席には欠かせません。需要があっても、国内で流通しているのはほとんどが輸入物です。同駅にはスモークやハム、ソーセージなど七面鳥の加工品があり「ほかで



道の駅「香りの里たきのうえ」

はなかなか手に入らないので、この機会に」と、購入していくお客さんがあとを断ちません。和風感覚のみそ漬けにした焼き肉用の七面鳥も売られており、寄った時はぜひ購入したい商品の一つです。

ところで道の駅にはレストランを併設しているところも少なくありませんが、同駅ではコーヒーやハーブティーなどの飲み物が楽しめるコーナーはあっても、食事は出していません。なぜなら国道273号を挟んで向かいに町営の「ホテル溪谷」があるからです。食事を楽しむのならホテルへと案内していますし、町内にある和洋さまざまな飲食店も紹介しています。

眼下に溪谷が広がり、岩風呂が自慢の「ホテル溪谷」では七面鳥を使ったメニューもあり、予約をすれば七面鳥の懷石料理も用意できるそうです。

## 町の魅力を発信。 情報収集ならまず道の駅へ

ぐると山に囲まれた滝上町の主産業の一つが林業です。森林鉄道が2本走っていた時代もありました。豊かな自然は町にとってかけがえのない財産であり、その豊かな自然の代表格ともいえるのが「錦仙峡きんせんきょう」です。錦仙峡とは、天塩岳を源とする滝上町の市街地を流れる渚滑川のことを指しています。ハーブガーデンと錦仙峡を散策する「ハーブと錦仙峡を訪ねるみち」は、美しい日本の歩きたくなるみち500選認定コースにもなっており、溪谷の美しさを堪能しながら約5.4キロの遊歩道を楽しんでみては？

途中には水しぶきを上げ、渦を巻きながら流れ落ちる「蚊竜の滝」。洋風の建物から流れ落ちているように見える「白亜の滝」。そして豪快に直下30メートルの「洛陽の滝」は夕日に映えて七色の虹を映し出します。

春にはエゾエンゴサクやオオバナノエンレイソウ、夏にはクルマユリといった貴重な植物を見ることができ、カワセミなどの野鳥がさえずり心を癒してくれるはずです。

また釣り人の間では、渚滑川はニジマスの宝庫としてよく知られていますが1995年（平成7年）に、日本で初めてキャッチアンドリリースを宣言。釣った魚を自然に戻しています。

半世紀という時間をかけ、園主が一人で整備した「陽殖園」は7万5000平方メートルの広大な敷地の中に池や散策路、小山などもあり、春から秋にかけ



「滝上公園」の芝ざくら



紅葉時期の「錦仙峡」

て約800種類の花が咲くといえます。秋の終わりから冬期間は休園していますが、暖かい季節は足を運んでみたいものです。きっとガーデニングのヒントもたくさんあることでしょう。

滝上町出身で、大学時代一時故郷を離れたものの、現在は町役場商工観光課商工観光係で精力的にピーアール活動をしている清原尚弘さんは「一度町外へ出たことで、滝上町の素晴らしさを再認識することができました。豊かな自然もそうですし、ハッカやハーブ、七面鳥など特色ある地場産品は胸をはってご紹介できます。滝上を知るには、まずは道の駅で情報収集してみてください。スタッフもこまやかに対応しています。春のゴールデンウィーク時期は地元の食料品関係の販売、夏は七夕、秋は寒暖の差があることでおいしくなるジャガイモをはじめとした農家のうまいもの、そして冬はクリスマス。季節を通じて道の駅ではイベントも開催しているので、いついらしても新鮮な印象があると思います。芝ざくらだけではなく、もっともっとたくさんの町の魅力をこの道の駅から発信していきたいですね。」と話しています。

メルヘンの世界が広がり、さわやかなハーブの香り漂う滝上町の魅力は尽きないようです。